



旅

PARIS

Flâner dans Paris, France

ぶらりパリ市内





ルーヴル美術館 [Musée du Louvre]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- ルーヴル美術館 [Musée du Louvre]
- Mo Palais-Royal/musée du Louvre, 75001 Paris,
- メトロ1,7号線パレ・ロワイヤル・ミュゼ・デュ・ルーヴル駅 (Palais Royal-Musée du Louvre)下車



ルーヴル美術館は、パリの中心部、セヌ川（セーヌ川）の右岸に位置し、ルーヴル宮殿の大部分を占めている。その起源は12世紀末に建造の始まったパリの街を守護するための要塞であり、時代の変遷とともにフランス王家の宮殿、そして美術館へと変貌を遂げてきた。

1985年から1989年にかけて、ミッテラン政権下の「グラン・ルーヴル・プロジェ」（大ルーヴル計画）により大改築が行われた。主に地下部分に増築を行い、大蔵省等ルーヴル宮殿内にあった政府機関を移転して新たなギャラリーとするとともに、イオ・ミン・ペイ設計による、ガラスのピラミッドを中庭においてメインエントランスとし、その直下にインフォメーション・カウンターと各ギャラリー・店舗・食堂へのアクセス可能な大ホール（ナポレオン・ホール）を有する、近代的な美術館の面も持ち合わせるようになった。なお、美術館に直結する地下街にはやはりイオ・ミン・ペイの設計になる逆ピラミッドが設置されている。

（注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください）

<http://ja.wikipedia.org/wiki/ルーヴル美術館>

http://fr.wikipedia.org/wiki/Musée_du_Louvre

<http://www.louvre.fr/llv/commun/home.jsp>

フランスの美術館・博物館(Maison des Musées de France)最新情報-主な開館閉館情報-

<http://www.museesdefrance.org/museum/news/openclose.html>

ルーヴル美術館(Musée du Louvre)見どころガイド

http://www.museesdefrance.org/museum/serialize/backnumber/0508/museum_0508_2.html#top

フランスのミュゼに関する情報をマップにて一覧できます

http://www.museesdefrance.org/museemap/museemap_top.html

（注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります）







テュイルリー宮殿・庭園 [Jardin des Tuileries]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- テュイルリー宮殿・庭園 [Jardin des Tuileries]
- place de la Concorde, 75001 Paris,
- メトロ 1号線 テュイルリー駅 (Tuileries)下車
メトロ 1,8,12号線 コンコルド駅 (Concorde)下車



テュイルリー宮殿(仏:Palais des Tuileries)とは、17世紀から19世紀まで使用されていたフランス・パリにある宮殿。ルーヴル宮殿の西側に隣接する。また、チュイルリー宮殿とも表記される。1563年に当時の摂政であった王母カトリーヌ・ド・メデイスが建造を命じ、フィリベール・ドゥ・ロルムの設計のもと、約100年の時を費やして完成した。後にナポレオン・ボナパルトが短期間だったが再び王宮として整備したが、1871年5月23日、パリ・コミューンの鎮圧の最中に焼失した・・・(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/テュイルリー宮殿>

カルーゼル広場(Place du Carrousel)は、パリの1区にある公共の広場で、ルーヴル美術館の中庭の一方が開かれた部分にあり、かつて1871年まではそこにテュイルリー宮殿があった。"carrousel"とは、軍事馬場馬術の一種を意味している。カルーゼル広場がそう呼ばれるようになったのは1662年のことで、ルイ14世がそこで馬場馬術を行わせて観覧したことに由来する。1806年から1808年にテュイルリー宮殿の門として建設されたカルーゼル凱旋門(Arc de Triomphe du Carrouse)は、宮殿撤去後のカルーゼル広場で最も目立つ建物となった。これはナポレオンのそれまでの戦勝を記念して1806年に建設が始まった凱旋門である。これより有名なエトワール凱旋門も同じ年に設計されたが、建設には13年かかり、大きさもほぼ倍である。(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/カルーゼル広場>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)







オランジュリー美術館 [Musée de l'Orangerie]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- オランジュリー美術館 [Musée de l'Orangerie]
- Jardin Tuileries, 75001 Paris,
- メトロ 1,8,12号線 コンコルド駅 (Concorde)下車



オランジュリー美術館(仏:Musée de l'Orangerie)はフランスのパリにある印象派とポスト印象派などの美術館で、モネ、ルノワール、セザンヌ、ピカソ、マティス、ルソー、マリー・ローランサン、モディリアーニ、ユトリロ、シスレー、スーティン、などの作品を収蔵し、テュイルリー公園内にセヌ川に面して建っている。もともとはテュイルリー宮殿のオレンジ温室(オランジュリー)だったが、1927年モネの「睡蓮」の連作を取めるために美術館として整備され、モネの「睡蓮」の楕円形の2部屋と、1959年から1963年にかけて国家に寄贈された画商兼美術収集家のポール・ギヨームとその妻、そして彼女の二度目の夫のジャン・ヴァルテールの144点からなるコレクションなどをメインに構成されている・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/オランジュリー美術館>

<http://www.musee-orangerie.fr/>

<http://www.merci-paris.net/musee/orangerie.html>

オランジュリー美術館(Maison des Musées de France)情報

<http://www.museesdefrance.org/museum/special/inter-back/0607/special02.html>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)







コンコルド広場 [Place de la Concorde]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- コンコルド広場 [Place de la Concorde]
- Place de la Concorde, 75008 Paris,
- メトロ 1,8,12号線 コンコルド駅 (Concorde)下車



コンコルド広場(Place de la Concorde)は、フランス・パリにある有名な広場。パリの中心部、チュイルリー公園とシャンゼリゼ通りに挟まれて位置する。

1755年、Ange-Jacques Gabrielによって設計され、当初ルイ15世の騎馬像が設置されていたため「ルイ15世広場」と呼ばれていた。その後、フランス革命の勃発により、騎馬像は取り払われ、名前も「革命広場」に改められた。フランス革命中には、ルイ16世やマリー・アントワネットへの斬首が行われた刑場でもある。1795年、現在の「コンコルド広場」という名前前で呼ばれる始める(公式名になったのは1830年)。

広場の中心部には、エジプトのルクソール神殿から運んできたLuxor Obelisk(クレオパトラの針)が置かれている。

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/コンコルド広場>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)







エトワール凱旋門 [Arc de triomphe de l'Etoile]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- エトワール凱旋門 [Arc de triomphe de l'Etoile]
- Arc de Triomphe,
150 Avenue des Champs Elysées, 75116 Paris,
- メトロ 1,2,6号線 エトワール駅 (Étoile)下車



エトワール凱旋門(仏: Arc de triomphe de l'Etoile)は、フランス・パリのシャンゼリゼ通りの西端、シャルル・ド・ゴール広場にある凱旋門である。パリの象徴的な建造物の一つで、単に凱旋門と言えばこのエトワール凱旋門を指すことも多く、世界有数の観光名所となっている。

この凱旋門を中心に、シャンゼリゼ通りを始め、12本の通りが放射状に伸びており、その形が地図上で光り輝く「星=étoile」のように見えるので、この広場は「星の広場(エトワール広場) la place de l'Etoile」と呼ばれていた。そのため、「エトワール広場の凱旋門」の意味の「Arc de triomphe de l'Etoile」との正式名称がある・・・

古代ギリシャ、ローマを模範とする新古典主義建築の代表作である、エトワール凱旋門は、前年のアウステルリッツの戦いに勝利した記念に1806年、ナポレオン・ボナパルトの命によって建設が始まった。ルイ・フィリップの復古王政時代、1836年に完成した。ナポレオンは凱旋門が完成する前に既に死去しており、彼がこの門をくぐったのは1840年にパリに改葬された時であった・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/エトワール凱旋門>

<http://arc-de-triomphe.monuments-nationaux.fr/>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)







シャンゼリゼ通り [Av. des Champs Élysées]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- シャンゼリゼ通り [Av. des Champs Élysées]
- Avenue des Champs Élysées Paris,
- メトロ 1,2,6,9,13号線
(Charles de Gaulle-Étoile/George V/
Franklin D. Roosevelt/
Champs-Élysées-Clemenceau)下車



シャンゼリゼ通り(仏: L'Avenue des Champs-Élysées)とは、パリ市内で最も美しい通りとされ、特にフランスでは「世界で最も美しい通り : la plus belle avenue du monde」と言う表現が使われている。パリ市内北西部の第8区を横切る約3km、幅70mの大通りで、マロニエの並木道となっていて、東はオベリスクのあるコンコルド広場から、西は凱旋門のあるシャルル・ド・ゴール広場まで全長約3km続き、パリの観光スポットとなっている。この通りを延長し、東のルーブル宮から、ルーブルのピラミッド、カルーゼル凱旋門、テュイルリー庭園、オベリスク、凱旋門、そして西のラ・デファンス地区の「グランドルシュ」へと東西の長い直線をパリの歴史軸などと呼ぶ・・・

なお、"Les Champs-Élysées"とは、ギリシャ神話において有徳の人が死後に住む極楽浄土を意味するエリュシオン(英: the Elysium, the Elysian Fields)のことである。そのため、シャンゼリゼ通りは、日本風に言うと「極楽浄土通り」または「極楽通り」ということになる。また、シャンゼリゼ通りに面して、フランス大統領官邸であるエリゼ宮殿(le palais de l'Élysée)があるが、これも日本風に言うと「極楽浄土宮殿」ということになる・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/シャンゼリゼ通り>

(注意 : PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)





エッフェル塔 [La tour Eiffel]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- エッフェル塔 [La tour Eiffel]
- Parc du Champ de Mars, 5 Avenue Anatole France, 75007 Paris,
- メトロ 6号線 ビラケム駅 (Bir Hakeim)下車
(郊外地下鉄)C線シャン・ド・マルス=トゥール・エッフェル
駅(Champs de Mars - Tour Eiffel)下車



エッフェル塔(仏: La tour Eiffel)は、フランスの首都パリの象徴的な名所となっている塔である。

フランス革命100周年を記念して、1889年にパリで行われた第4回万国博覧会のために建造されるべくコンペティションが開かれた。ここで、ギュスターヴ・エッフェルほか2者の案が採用になった。設計者がステファン・ソーヴェストル、モーリス・ケ克蘭とされたり、エッフェルは工事を請け負ったにすぎないとされたりするが、当時ソーヴェストルとケ克蘭は、2者ともエッフェル社の社員で、エッフェルとともにコンペに参加していた。最終的にはエッフェルが著作権者となり、この塔の名前の由来になった。

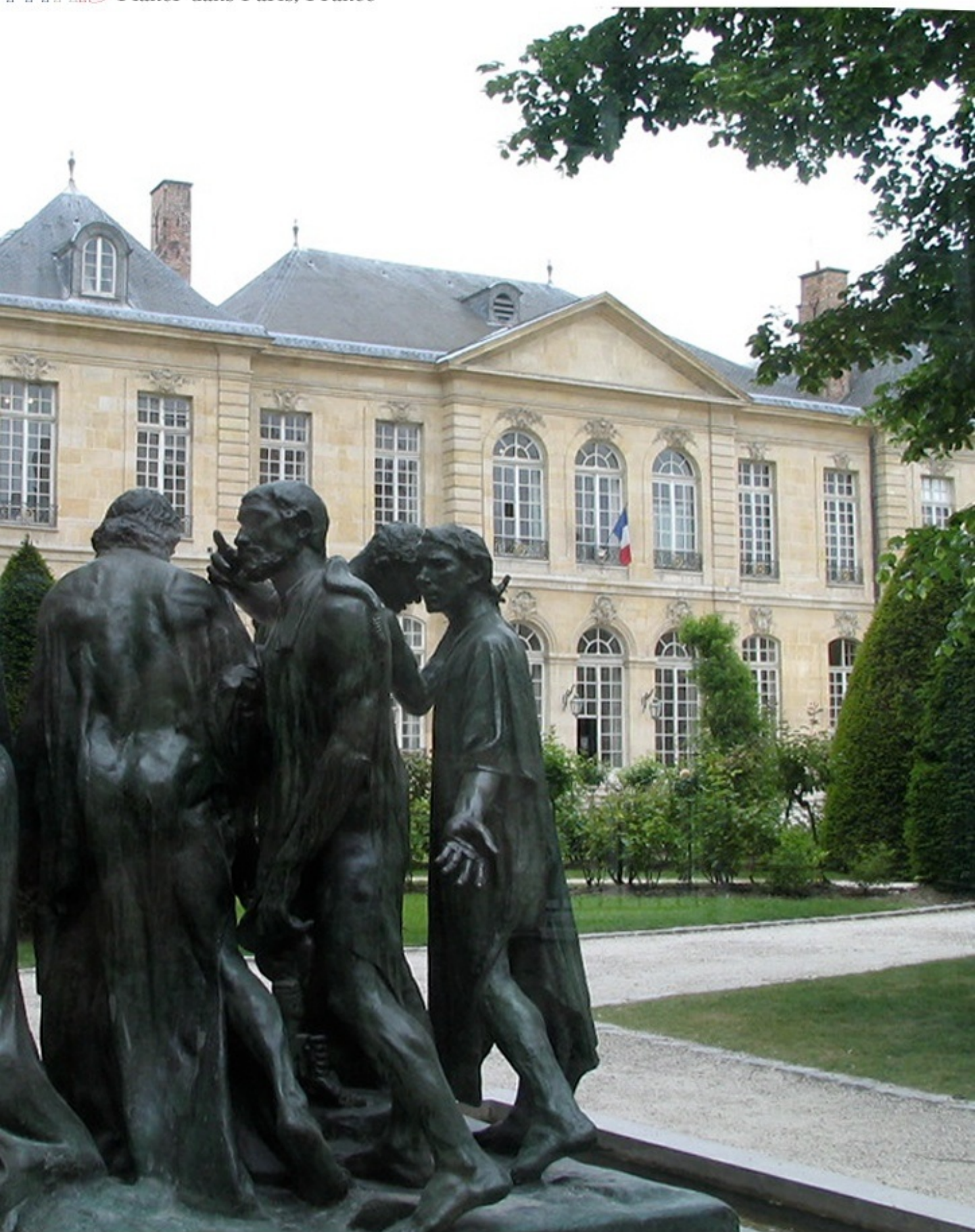
1886年6月3日、コンペティション最優秀作品として委員会を選んだのは3案あり、フェルディナン・デュテルとジャン・カミーユ・ルミジュの作品(美術館など)と、エッフェル、ソーヴェストル、ケ克蘭らの設計図であった。満場一致の採択であり、講評は「1889年の万国博覧会用に建てられる塔は決定的な特徴をもち、金属産業の独創的傑作として出現しなければならない。この目的に十分かなうのはエッフェル塔のみと思われる」であった。こうしてエッフェル塔建設が始まる。建設は万博に間に合わせるため、2年2ヶ月という驚異的な速さで行われたが、1人の死者も出さなかった・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/エッフェル塔>

<http://www.tour-eiffel.fr/>

(注意: PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)





ロダン美術館 [Musée Rodin]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- ロダン美術館 [Musée Rodin]
- 79 Rue de Varenne, 75007 Paris,
- メトロ 13号線 ヴァレヌ駅 (Varenne)下車



19世紀末から20世紀初頭のパリを舞台に、それまでの常識を覆すような作品を制作し“近代彫刻の父”と讃えられたオーギュスト・ロダン。美術館は、パリ7区セーヌ左岸、アンヴァリッドに隣接する閑静な一角にあります。ロココ様式の美しい建物は、かつての所有者の名にちなんで「ピロン館:Hotel Biron」と呼ばれ、ロダンが晩年の10年を過ごした場所。館内のほか、広大な庭園にもロダンの彫刻作品が置かれており、四季折々の自然と彫刻との競演で来館者を楽しませてくれます・・・現在、ロダン美術館として使用されている建物は、1728年～1730年にかけて造られました。設計を手がけたのはシャンティイの大厩舎の建築で知られるジャン・オーベールで、ロココ芸術の粋を集めた建築を完成させました。その後、1753年フランス衛兵隊の総司令官ピロン将軍が館を手に入れ、1911年にフランス政府が買い取ることとなった時に、この館を気に入っていたロダンが、自己の作品及びコレクションを国家に寄付するので美術館として残して欲しいと提案し、ロダンの死後の1919年にロダン美術館として開館しました・・・

(注釈は上記のロダン美術館 [Musée Rodin]やwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://www.museesdefrance.org/museum/serialize/backnumber/0603/museum.html>

[http://ja.wikipedia.org/wiki/ロダン美術館_\(パリ\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/ロダン美術館_(パリ))

<http://www.musee-rodin.fr/>

http://en.wikipedia.org/wiki/Musée_Rodin

<http://ja.wikipedia.org/wiki/オーギュスト・ロダン>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)







パリ・セーヌ河岸 [Rives de la Seine à Paris]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

● パリ・セーヌ河岸 [Rives de la Seine à Paris]



「パリのセーヌ河岸」は、フランスにあるユネスコ世界遺産のひとつ。首都パリを流れるセーヌ川の川岸のうち、シュリー橋からイエナ橋までのおよそ8kmほどが登録対象となっている。これには、中州であるシテ島とサン・ルイ島、および区域内に架かる橋も含まれている。

登録対象地区はパリの中心部であり、この都市が辿ってきた歴史がよく現れている。この地区には、ノートルダム大聖堂などの中世の建築群や、エッフェル塔などの近・現代建築群のように観光名所としてもよく知られた建築群が含まれる。また同時に、19世紀における優れた都市計画であり、全世界のその後の新興都市計画に影響を及ぼしたオスマン男爵によるパリ改造を限定的ながら例示するものともなっている。

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/パリのセーヌ河岸>

フランスの首都パリは、セーヌ川の中州のシテ島から発達した町である。シテ島の上流につづくサン・ルイ島、チュイルリー公園、コンコルド広場、エッフェル塔、シャイヨ宮、自由の女神像など、セーヌ川およびその河岸は、現在でもパリ市の観光の中心であり、バトームーシュと呼ばれる観光船も定期的に運航されている。一部はパリのセーヌ河岸として世界遺産に登録されている。

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/セーヌ川>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)





オルセー美術館 [Musée d'Orsay]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- オルセー美術館 [Musée d'Orsay]
- 62 rue de Lille, 75007 Paris,
- メトロ 12号線 ソルフェリーノ駅 (Solféino)下車
エール・ウー・エール Musée d'Orsay駅下車



オルセー美術館 (Musée d'Orsay) は、フランスのパリにある、19世紀美術専門の美術館で、建物はもともと1900年のパリ万国博覧会開催に合わせて、オルレアン鉄道によって建設されたオルセー駅の鉄道駅舎兼ホテルであり、設計者はヴィクトール・ラルー(1850年 - 1937年)である。一時は取り壊しの話もあったが、1970年代からフランス政府によって保存活用策が検討され、19世紀美術を展示する美術館として生まれ変わることとなり、1986年オルセー美術館として開館した。中央ホールは地下ホームの吹き抜け構造をそのまま活用しているなど、建物内部には鉄道駅であった面影が随所に残る・・・

館の方針としては、原則として2月革命のあった1848年から、第一次世界大戦が勃発した1914年までの作品を展示することになっており、それ以前の作品はルーヴル美術館、以降の作品はポンピドゥー・センターという役割分担がなされている（むろん、多少の例外はある）絵画、彫刻だけでなく、写真、グラフィック・アート、家具、工芸品など19世紀の幅広い視覚芸術作品も収集・展示の対象になっている・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/オルセー美術館>

<http://www.musee-orsay.fr/>

オルセー美術館の歩み

<http://www.museesdefrance.org/museum/special/backnumber/0612/special01.html>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)





PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- オルセー美術館内・レストラン・ミュゼ・ドウ・オルセー [Le Restaurant du Musée d'Orsay]
- 62 rue de Lille, 75007 Paris,
- メトロ 12号線 ソルフェリーノ駅 (Solféino)下車
エール・ウー・エール Musée d'Orsay駅下車



Le Restaurant du Musée d'Orsay (レストラン・ミュゼ・ドウ・オルセー) 公式サイト↓

<http://www.musee-orsay.fr/en/espace-professionnels/professionals/tourism-professionals/restaurant.html>

パリで有名な美術館であるオルセー美術館(Musée d'Orsay)の館内にあるレストランが「Le Restaurant du Musée d'Orsay」で、オルセー美術館を訪れたならば、しばし、ここで休憩するのがオススメ・・・

オルセー美術館は元々駅舎を改築して美術館にしたもので、こちらのレストランは駅として使われていた時代に来賓用のレストランとして使われ、ヴェルサイユ宮殿を彷彿させる豪華な内装になっています。ガブリエル・フェリエ：Gabriel Ferrierの天井のフレスコ画にシャンデリアに彫刻といったロココ調のインテリアが何ともいえない魅力的で優雅な気分でくつろげる店です。お料理は、お昼のPlat de jour(本日のランチ)デザート付きで、とてもリーズナブルです・・・

(注釈は下記のサイトなどを参照、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://www.hitoriparis.com/cafe/lerestaurant.html>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



サン・ジェルマン・デ・プレ教会 [Eglise Saint Germain des Prés]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- サン・ジェルマン・デ・プレ教会 [Eglise Saint Germain des Prés]
- 3 Place Saint-Germain des Prés, 75006 Paris,
- メトロ 4号線 サン・ジェルマン・デ・プレ駅 (St-Germain-des-prés)下車



サン・ジェルマン大通に面し、パリで最古の教会と言われるほど古く、パリの教会には無い特徴、ロマネスク～ゴシック後期の建築様式が混在している教会です。起源は542年で、もともとはスペインから持ち帰った聖遺物を納める為に造られた修道院が前身となっています。でもこの教会は、かつての面影をそのまま留めて居る訳ではなく、幾度と無く破壊や損壊を繰り返して現在に至っています。8世紀にベネディクト修道会の大修道院として力を持ち、9世紀にはパリに攻めて来たノルマン人の手で破壊されました。11世紀から大規模な再建工事が行われたり、フランス革命では大部分が破壊され、19世紀に大規模改修が成されて現在の姿を留め、2004年に鐘塔の修繕が完了し現在の教会となりました。

周辺はブランドブティックに有名パティスリーや140年の歴史をもつ、カフェ・ド・フロールやドゥ・マゴなどの老舗のカフェが立ち並び、知的で上品な雰囲気の、最もパリらしいエリアと云われています。

<http://en.wikipedia.org/wiki/Saint-Germain-des-Prés>

http://en.wikipedia.org/wiki/Abbey_of_Saint-Germain-des-Prés

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)





カフェ・ド・フロール [Café de Flore]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- カフェ・ド・フロール [Café de Flore]
- 172 Boulevard Saint-Germain 75006 Paris,
- メトロ 4号線 サン・ジェルマン・デ・プレ駅 (Saint-Germain-des-Prés)下車



カフェ・ド・フロールは、1887年にオープンして以来、サルトルやボーヴォワールらが"書齋代わり"に利用し、多くの文学者や著名人が集うサロンとして愛されてきました。今も当時の雰囲気をとどめる、文学カフェの代表格です。

朝食や午後のお茶にもいいけれど、日が暮れ、街のあかりが灯る頃、ディナーの前に立ち寄って、アペリティフ（食前酒）というのはいかがでしょう。ギャルソンのおすすめは、やはりシャンパン。モエ・エ・シャンドンの口ゼも、キュヴェ・ドン・ペリニョンも、銀のシャンパンクーラーのなかで頃合に冷えて、オーダーを待っています。小さな泡がきらめくフルートグラスを手に語らうひときは、パリの夜にふさわしいプレリュードです。

http://en.wikipedia.org/wiki/Café_de_Flore

(以下サイト：カフェ・ド・フロール・オフィシャルサイト)

<http://www.cafedeflore.fr/>

<http://www.cafedeflore.fr/accueil/menu/>

(注釈は以下サイト・フランスシャトー・ウェブマガジンを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://www.francechateaux.jp/areaguide/paris/gastronomie/flore2/flore2.html>

各エリアを代表する魅惑のカフェ、ビストロ(カフェ・ド・フロール)

サン・ジェルマン・デ・プレの代表的なカフェのひとつ・・・

http://www.francechateaux.jp/TOP/home_2.html

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- ドウ・マゴ [Les Deux Magots]
- 6 Place St Germain des Prés, 75006 Paris,
- メトロ 4号線 サン・ジェルマン・デ・プレ駅 (Saint-Germain-des-Prés)下車



1884年、サンジェルマン・デ・プレの中心に創業して以来、古くはヴェルレーヌ、ランボー、マラルメに始まり、エルザトリオレ、アンドレジッド、ジャンジロドウ、ピカソ、フェルナンレジェ、プレヴェール、ヘミングウェイ、サルトル、シモーヌドボーヴォワール、など多くの文化人や思想家、芸術家に愛され、1世紀以上にわたってパリの人々に親しまれ続けてきた老舗カフェです・・・

<http://translate.google.co.jp/translatehl=ja&sl=fr&tl=ja&u=http%3A%2F%2Fwww.lesdeuxmagots.fr%2F>

[lesdeuxmagots.fr%2F](http://www.lesdeuxmagots.fr/)

(以下フランスサイト：ドウ・マゴ・オフィシャルサイト)

<http://www.lesdeuxmagots.fr/>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)







ドラクロワ美術館 [Musée National Eugène Delacroix]& フュルスタンベール広場 [Place de Furstemberg]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- 国立ウジェーヌ・ドラクロワ美術館 (Musée National Eugène Delacroix) フュルスタンベール広場 [Place de Furstemberg]
- 6 Rue Furstenberg, 75006 Paris,
- メトロ 4号線 サン・ジェルマン・デ・プレ駅 (St-Germain-des-pres)下車
※サン・ジェルマン・デ・プレ教会から徒歩約5分



"ルネサンス最後の、そして近代絵画最初の巨匠"とボードレールが称したドラクロワは、19世紀ロマン主義を代表する画家として、続くフォーヴィスムや印象派に多大な影響を与えました。その強さ、精神性、色彩、永遠への強い憧れ「我々はすべて彼の中で描いている」崇拜を込めてそう言ったのはセザンヌ。ルノアールやマネが「感じ取る方法」の本質を学び、ピカソやマティスが激しいインスピレーションを受け、あまたの模写やオマージュを残しました。近代絵画の「中心」ともいえる存在、それがドラクロワなのです・・・

古き良きパリの面影を残すサン・ジェルマン・デ・プレ界隈、フュルスタンベール広場に位置する当美術館は、サン・シュルピス聖堂の壁画を仕上げるために、ドラクロワが最期に移り住んだ(1857~63年)アトリエと住居でした。「私の小さな庭の眺めと、のどかなアトリエは、いつも私に喜びをもたらしてくれる。(1857- Journal)」晩年の創作環境に満足つつ、1863年彼はこの家で息を引き取りました。そのおよそ半世紀後に持ち上がったアトリエの解体を、ドラクロワを深く信奉するモーリス・ドニやポール・シニャックをはじめとする「ドラクロワ友の会」が食い止め、国立美術館としての設立(1971年)へとつながったのです・・・

(注釈は下記Connaissez-vous ce muséeを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://www.museesdefrance.org/museum/serialize/backnumber/0504/0504.html>

<http://www.musee-delacroix.fr/fr/>

<http://ja.wikipedia.org/wiki/ウジェーヌ・ドラクロワ>

-Rue de Furstenberg-

http://fr.wikipedia.org/wiki/Rue_de_Furstenberg

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)







PARIS *Flâner dans Paris, France*





カフェ・ル・プロコープ [Cafe Le Procope] & クール・デュ・コメルス・サンタンドレ [Cour du commerce St-Andre]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- カフェ・ル・プロコープ [Cafe Le Procope]
- 13 Rue Ancienne Comédie, 75006 Paris,
- メトロ 4号線 オデオン駅 (Odéon)下車



1686年にオープンし、現存するパリで一番古いカフェ、Cafe Le Procope (カフェ・ル・プロコープ)が、演劇の殿堂オデオン座の近くの、サンジェルマン大通りを少し入った所に有り、300年余りも続いていて、ナポレオンも常連客だったらしい・・・

思想家ヴォルテールやジャン＝ジャック・ルソーたちに愛されながら、革命家のロベスピエールやダントン、マラーがここに集まり革命思想が議論され、かのベンジャミン・フランクリンはここでアメリカ合衆国憲法の中の一章を起草したらしい・・・

オデオン座(当時はテアトル・フランセと呼ばれていた)で、1784年コメディ・フランセーズの「フィガロの結婚」の初演で、演劇家などで店も賑わいをみせたり、バルザックやヴィクトル・ユーゴーなども姿を見せ、詩人ヴェルレーヌやオスカー・ワイルドたちなど文化人たちにも愛された・・・

カルチュラタンの知的なエリアで300年余り続いている「知」の巣窟の様な店だけど、サンジェルマン大通りから入れる店の裏は、古き良き時代を匂わせ、屋根の無い昔のままのクール・デュ・コメルス・サンタンドレ(Cour du Commerce St-André)と云うパッサージュになっている。店のウィンドウディスプレイには革命に関連した人達の絵が飾られ、そしてその道路は、つまづいてこけそうな、でこぼこで傾いた石畳の、まさに300年余り昔の小路で、今もパリそのものの風景が残っている・・・

<http://www.procope.com/>

http://en.wikipedia.org/wiki/Café_Procope

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



サン・ミシェル広場 [Place Saint-Michel]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- サン・ミシェル広場 [Place Saint-Michel]
- 11 Place Saint-Michel 75006, Paris,
- メトロ 4号線 サン・ミシェル駅 (Saint-Michel)下車
Saint-Michel Notre Dame RER B,C線 徒歩0分



カルチェラタンとパリの大学の近くの、サン・ミッシェルの駅を出た所に広がるサン・ミッシェル広場は、有名なパリのランドマークで、パリジャン、パリジェンヌの待ち合わせスポットして毎日にぎわいます。ナポレオン3世時代に建設されたこの噴水を見事に飾る、竜を倒す聖ミカエル、羽のある龍、カトリックの4つの枢要徳を表す銅像の数々。ノートルダムやコンシエルジュリーのあるシテ島の橋のすぐ前なので、観光をスタートする前の待ち合わせなどには、大変わかりやすくぴったりの場所です。雄大な噴水を眺めながら、お友達を待つなんてとても贅沢な気分に入れます・・・

http://www.cahierdeparis.com/1_article_34

(注釈は上記サイトのカイエ・ド・パリなどを参照、詳しくは以下サイトをご覧ください)

てくてく旅行記 | サンミッシェル広場にある噴水前は、待合せする人でいっぱい。パリの町中には多くの噴水がありますが、この噴水は私のお気に入りです・・・

<http://ameblo.jp/alesia/entry-10780134047.html>

http://en.wikipedia.org/wiki/Place_Saint-Michel

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)





ノートルダム大聖堂 [Cathédrale Notre-Dame de Paris]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- ノートルダム大聖堂
[Cathédrale Notre-Dame de Paris]
- 6 Place Parvis Notre-Dame, 75004 Paris,
- メトロ 4号線 シテ駅 (Cité)下車



パリのノートルダム大聖堂(Cathédrale Notre-Dame de Paris)はゴシック建築を代表する建物であり、フランス、パリのシテ島にあるローマ・カトリック教会の大聖堂で「パリのセーヌ河岸」という名称で、周辺の文化遺産とともに1991年にユネスコの世界遺産に登録された。現在もノートルダム大聖堂は、パリ大司教座聖堂として使用されている。ノートルダムとはフランス語で「我らが貴婦人」すなわち聖母マリアを指す・・・

1804年に帝政を宣言したナポレオン・ボナパルトの戴冠式は1804年12月2日にノートルダム大聖堂で行われ、1831年に出版されたヴィクトル・ユーゴーの小説「ノートルダム・ド・パリ：Notre-Dame de Paris」邦題「ノートルダムのせむし男」の舞台にもなった・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

[http://ja.wikipedia.org/wiki/ノートルダム大聖堂_\(パリ\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/ノートルダム大聖堂_(パリ))

<http://ja.wikipedia.org/wiki/ノートルダム・ド・パリ>

<http://www.notredamedeparis.fr/>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)







パリ市庁舎 [Hôtel de Ville]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- パリ市庁舎 [Hôtel de Ville]
- Hôtel de Ville 75004 Paris,
- メトロ 11号線 オテル・ドゥ・ヴィル駅 (Hôtel de Ville)下車



パリの建築物の中でも美しさを誇るパリ市庁舎は、ネオ・ルネッサンス様式とベル・エポック様式が混在する壮麗な造りの建物で、1871年のパリ・コミュンで一度焼失し、現在の建物は1882年に再建されたものです。ここの市役所前広場は、冬はスケートリンク、夏はガーデニングなど、多くのイベントに使われ定期的に展示会が行われています。パリ市主催ということもあり、普通ではお目にかかれない作品などが無料で見ることができ、週1日だけ建物内部の見学もできる・・・
(詳しくは以下の参考サイトをご覧ください)

http://en.wikipedia.org/wiki/Hôtel_de_Ville,_Paris

<http://paris.navi.com/miru/52/>

<http://www.ryoko.info/paris/007paris.htm>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)





PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- ジョルジュ・ポンピドゥー国立美術文化センター [Centre National d'Art et de Culture Georges Pompidou]
- Place Georges Pompidou, 75004 Paris,
- メトロ 11号線 ランビュトー駅 (Rambuteau) 1,11号線オテル・ドゥ・ヴィル (Hôtel de Ville) シャトレ・レ・アル (Châtelet-les Halles) 各駅下車



ポンピドゥー・センター(Centre Pompidou)は、フランスの首都・パリ4区(セーヌ川右岸)にある総合文化施設で、正式名称はジョルジュ・ポンピドゥ国立美術文化センター(サントル・ナショナル・ダール・エ・ド・キュルチュール・ジョルジュ・ポンピドゥ、Centre National d'Art et de Culture Georges Pompidou)という。レンゾ・ピアノとリチャード・ロジャースが設計し、1977年開館。名前は、フランス第五共和政の第2代大統領で、現代芸術の擁護者でもありこの施設を発案したジョルジュ・ポンピドゥーにちなんでいる。様々な形態の同時代の芸術(現代美術や現代音楽、ダンス、映画など)のための拠点をパリ中心部に設けようとの意図から計画されたセンターである。

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/ポンピドゥー・センター>

<http://www.cnac-gp.fr/>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)





ピカソ美術館(パリ) [Musée Picasso]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- ピカソ美術館(パリ) [Musée Picasso]
- 5 Rue Thorigny, 75003 Paris,
- メトロ 1号線 サン=ポール駅 (Saint-Paul)下車
8号線 サン=セバスチャン=フロワサル駅
(Saint-Sébastien-Froissart)下車



ピカソ美術(仏:Musée Picasso)は、パブロ・ピカソの作品を収蔵・展示している国立美術館で、その収蔵品はピカソの遺族が相続税として物納した作品が中心となっており1973年に死去したピカソが最後まで手に留めていた貴重なものが多い。美術館の建物は、もともと塩税徴収官の邸宅であったことから「サレ館：塩の館」と呼ばれている。1656年から1659年にかけて建築家ジャン・ド・ブイエによって建設された建物は、歴史的な建造物として1964年、パリ市に買収された。その後、ピカソの作品群を収めた美術館への転用が計画され、1976年、コンペで選ばれた建築家のロラン・シムネが改修を担当し、ディエゴ・ジャコメッティ(有名なアルベルト・ジャコメッティの弟)がデザインを担当し、1985年開館の運びとなった。ピカソ美術館は、絵画、彫刻、デッサン、陶器、版画のほか、直筆の書簡や写真なども収めており、収蔵数は約5,000点に及ぶ。ピカソの作品だけではなく、彼自身が収集したブラック、セザンヌ、ドガ、マティスなどの作品も所蔵している。作品は、青の時代、バラ色の時代、キュビズム、新古典主義、シュルレアリスムと年代順に展示されており、ピカソの画風の変化をたどることができる。

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

[http://ja.wikipedia.org/wiki/ピカソ美術館 \(パリ\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/ピカソ美術館_(パリ))

<http://www.musee-picasso.fr/>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



サン・マルタン運河 [Canal Saint-Martin]-地図

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- サン・マルタン運河 [Canal Saint-Martin]
- 27 Rue du Faubourg du Temple 75010 Paris,
- メトロ 3,5,8,9,11号線 レピュブリック駅 (République)下車



サン・マルタン運河(仏:Canal Saint-Martin)はフランス、パリの運河である。全長4.55km。

セヌ川のアルスナル港からラ・ヴィレット運河とその続きのウルク運河を結んでいる。開通したのは1825年である。25mの高低差があるために9つの閘門がある。幅が狭いため当初はパリに飲料水を導くために使われたが、現在はレジャー用になっている。運河の一部は地下水路になっている。地下化でバ스티ーユ広場からレピュブリック大通りまでのリシャール・ルノワール通りが1862年に、ジュール・フェリー通りが1907年にできた。運河が地上に出ているところではジュマペ通りに沿って有名な北ホテルがある（マルセル・カルネ監督の1938年の映画「北ホテル」Hôtel du Nord に登場した）。また、シスレーの絵画の題材にもなっている・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/サン・マルタン運河>

http://en.wikipedia.org/wiki/Canal_Saint-Martin

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



レピュブリック広場 [Place de la République]-地図

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- レピュブリック広場 [Place de la République]
- Place de la République 75011 Paris,
- メトロ 3,5,8,9,11号線 レピュブリック駅 (République)下車



フランス共和国の象徴である、自由の女神・マリアンヌのブロンズ像が中心にそびえ立つ大きな広場です。像の台座にはフランス共和国の歴史が刻まれてる。以前は細い道が入り組んで、暴動が起ると必ずゲリラ戦になったことから、1854年にオスマン知事がこの一帯を広い広場にすることを計画し1862年に完成しました。フランスではデモ行進や集会在日本に比べると頻繁に行われますが、ほとんどがこの広場を起点とし、まさに自由の女神にふさわしく「フランス共和国」を象徴する広場です・・・

(注釈は以下・パリ旅行ガイドなど引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://paris.navi.com/miru/54/>

http://en.wikipedia.org/wiki/Place_de_la_République

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



サクレ・クール寺院 [Basilique du Sacré-Cœur de Montmartre]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- サクレ・クール寺院
[Basilique du Sacré-Cœur de Montmartre]
- 35 Rue du Chevalier de la Barre, 75018 Paris,
- メトロ 2号線 アンヴェール駅 (Anvers)下車
12号線 アベス駅 (Abesses)下車



モンマルトルのサクレ・クール寺院 (Basilique du Sacré-Cœur de Montmartre) はフランスのパリ市内モンマルトルの丘の頂にそびえる教会堂。ロマネスク様式・ビザンティン様式のバジリカ大聖堂。ギベール・パリ大司教が計画を提唱し、アバディが設計を担当した。1889年にいち早く完成していたエッフェル塔と共にパリ市内を見晴らせる観光名所で、両建造物とも19世紀後半に構想された比較的新しいものであるにも関わらず、今やパリになくってはならない存在になっている。

第三共和政の憲法が公布された1875年に、フランスの新しい政体の門出を祝う意味合いを籠めて、政府による直接的な支援を受けて建設がはじまった。当時は普仏戦争とそれに続くパリ・コミュンによって命を失ったフランス市民を讃える公共建造物としても考えられていたが、年月が過ぎるにつれてその位置づけが自ずと変容してしまう。実際に着工したのは1877年で、約4000万フランの費用と40年の歳月をかけ、1914年に完成したものの、礼拝のために開放されたのは第一次世界大戦の終わり、1919年のことであった故に、この寺院は皮肉にも普仏戦争以来のドイツに対する復讐の象徴として多くのフランス人から捉えられた・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/サクレ・クール寺院>

<http://www.sacre-coeur-montmartre.com/>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)





ムーラン・ルージュ [Moulin Rouge]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- ムーラン・ルージュ [Moulin Rouge]
- 82 Boulevard de Clichy, 75018 Paris,
- メトロ 2号線 ブランシュ駅 (Blanche)下車



ムーラン・ルージュ(Moulin Rouge)は1889年に誕生したフランスのパリ市内、モンマルトルにあるキャバレーで、屋根の上に赤い風車があり、フランス語で「赤い風車」という意味で、実際に屋根の上に赤い風車がある。歌やダンス、フレンチ・カンカン、大道芸を組み合わせたショーで有名。また、画家のロートレックがここに通いつめ、踊り子たちをモデルに数々のポスターを描いたことでも有名である。第一次世界大戦や第二次世界大戦下でも営業を続け、第二次世界大戦中にパリがドイツ軍の占領下に置かれた際も、多くのドイツ軍将兵でにぎわった。ここで活躍した著名なミュージシャンとしてはエルビス・プレスリー、フランク・シナトラなど多数いる。現在もパリを代表する観光スポットの1つとして人気がある。約840名が収容でき、1日に2回のショーがあり、ディナーとドリンク付でショーを楽しむ事ができる。

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/ムーラン・ルージュ>

ムーラン・ルージュ (Le Moulin Rouge)公式サイト

<http://www.moulinrouge.fr/>

ムーラン・ルージュ公式日本語サイト | パリ ムーラン・ルージュ予約

<http://www.moulin-rouge-japon.com/>

(注意: PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- ギュスターヴ・モロー美術館
[Musée National Gustave Moreau]
- 14 Rue de La Rochefoucauld, 75009 Paris,
- メトロ 12号線 トリニテ・デスティネ・ドルヴ駅
(Trinité-d'Estienne d'Orve)下車



モローが描く神話や聖書の世界は、サロメ、一角獣、ケンタウロス、詩人などに、愛や死、理性と情念など、誰でもがもつ心の奥底の問題に訴えかけてきます。彼の芸術は、小説家エミール・ゾラによって、物語を通じて芸術や人間の生の奥深いテーマを表現する「象徴主義」と名づけられました。54歳でのサロン出典を最後にひとり創作の世界にこもっていたモローは、66歳にして友人の後任として国立美術学校のアトリエ主任教授の任につきま。のちのフォービズムの巨匠となるマティスをはじめ、ルオー、マルケといった20世紀に名を残す画家たちをこの住居兼アトリエで教えます。そして弟子達にこう述べます「私は橋です。君らの何人かがそれを通していきましょう」精神的で独創的な世界を築きながら、絵画の多様性こそが芸術であることを説いたモロー。日曜日ごとに現在のモロー美術館である邸宅に数人の教え子や、若手芸術家を招き、芸術家としていかに生きるべきかを生身で示しました。そして弟子の誰もがモローを慕い、生涯にわたり感謝の念を抱きつけたといえます。ルオーはその学舎ともいえる、モロー美術館の初代館長を務めています・・・

(注釈は以下サイトConnaissez-vous ce muséeなどを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

http://www.museesdefrance.org/museum/serialize/backnumber/0509/museum_0509.html

<http://www.musee-moreau.fr/>

<http://ja.wikipedia.org/wiki/ギュスターヴ・モロー>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



ギャラリー・ヴィヴィエンヌ [Galerie Vivienne]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- ギャラリー・ヴィヴィエンヌ [Galerie Vivienne]
- Galerie Vivienne 75002 Paris,
- メトロ 3号線 ブルス駅 (Bourse)下車



パッサージュが多く造られた19世紀のパリ。パレ・ロワイヤルから北に数分「パリで一番美しく魅力的なパッサージュ」と云われるギャラリー・ヴィヴィエンヌ [Galerie Vivienne]がある・・・

パッサージュ(Passage couvert)とは「Pass：通り抜け」の意で、19世紀パリの街角に、雨降りや近道の為に競い合っつくられた、ガラス張りの屋根に覆われ、両側に商店が立ち並ぶアーケード街で、当時150以上も存在し、現在では約20弱が残っている。特にこのヴィヴィエンヌは「パッサージュの女王」と呼ばれ、公証人マルショー：Marchauxによって1826年頃にオープンし、パリでもっともエレガントなパッサージュと云われている。パッサージュ内にはサロン「ア・プリオリテ：A Piori Thé」や「ジャン・ポール・ゴルティエ」や「ユキ・トリイ」などのブティック、老舗ワインショップの「ルグラン：Legrand」などが並び、そこはあたかも19世紀にタイムスリップし、時が止まったような上質でエレガントな空間が広がる・・・

GALERIE VIVIENNE | la galerie des boutiques parisiennes : La mode...

<http://www.galerie-vivienne.com/>

カイエ・ド・パリ：Galerie Vivienneギャラリー・ヴィヴィエンヌ

<http://cahierdeparis.com/ja/346/tourisme/galerie-vivienne/>

フレンチ・コード：ガイドブックには載っていないパリとフランスとフランス人の日常

http://www.french-code.com/culture_vivienne

ゆめのりよけん：ギャラリー・ヴィヴィエンヌ探訪

<http://travel.searchlight-jp.com/archives/201004/19-0859.php>

パッサージュ(Passage couvert)とは・・・

<http://ja.wikipedia.org/wiki/パッサージュ>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



サントトリニテ教会 [Église de la Sainte-Trinité de Paris]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- サントトリニテ教会
[Église de la Sainte-Trinité de Paris]
- 4 Place d'Estienne d'Orves, 75009 Paris,
- メトロ 12号線 トリニテ・デスティネ・ドルヴ駅
(Trinité-d'Estienne d'Orves)下車



サントトリニテ教会(Église de la Sainte-Trinité de Paris)は、パリ9区にある教会。エスティエンヌ・ドルヴ広場、ブランシュ通りの始点、サンラザール通りとショセ＝ダンタン通り(オペラ界限から教会が見渡せる)に面する。

サントトリニテ(Sainte-Trinité)とは聖三位一体を意味する。

建築家テオドール・バリユの設計。フランス第二帝政期のジョルジュ・オスマン男爵の命により、6年間で、豪華な装飾にもかかわらず当時の貨幣で4百万フラン弱と非常に経済的に建てられたが、建物はその印象を損なっていない。教会が建設される前の土地は豪華レストラン「グランド・パント」の所有だった。教会の名はメトロの駅名トリニテTrinitéになっている・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/サントトリニテ教会>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)

PARIS *Flâner dans Paris, France*



ぶらりパリ市内 *Flâner dans Paris, France*

PARIS *Flâner dans Paris, France*

Les Galeries Lafayette est un grand magasin de Paris situé boulevard Haussmann dans le neuvième arrondissement. En 2009, il a réalisé plus d'un milliard d'euros de chiffre d'affaires, devançant Harrod's à Londres, Bloomingdale's à New York et Isetan à Tokyo. Il appartient à la branche Galeries Lafayette/Nouvelles Galeries du Groupe Galeries Lafayette.

Galeries Lafayette



上下パノラマ風合成写真一

ギャラリー・ラファイエット [Galeries Lafayette]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- ギャラリー・ラファイエット [Galeries Lafayette]
- 40 Boulevard Haussmann, 75009 Paris,
- メトロ 7,9号線 ショセ・ダンタン・ラ・ファイエット駅 (Chaussée d'Antin-La Fayette)下車



ギャラリー・ラファイエット(Galeries Lafayette)はフランスの百貨店企業で、1893年Théophile Baderと彼のいとこAlphonse Kahnはラファイエットとショセ＝ダンタン通り(Rue de la Chaussée d'Antin)の角の小さな雑貨屋の中にファッション店をオープンした。1896年に会社はラ・ファイエット n°1 rue、1905年にオスマン大通り n°38, 40 et 42 とショセ・ダンタン n°15 rueの建物の全体を購入した。

Théophile Baderは、Georges Chedanneと彼の弟子Ferdinand Chanutにオスマンの建築のレイアウト設計を委託した。ガラスと鉄鋼のドーム、およびアール・ヌーヴォーの階段は1912年に造られた。

パリのギャラリー・ラファイエット本店本館は地下1階から7階(フランス式表示、以下同じ)までの9フロアーを有しており、パリ9区のオスマン大通り(boulevard Haussmann)40に位置している。このほかに、本館とはモガドール通りをはさんで向かいにある紳士・食品館が地上階から3階までの4フロアー、紳士・食品館とはオスマン大通りをはさんで向かいにあるインテリア館が地下1階から3階までの5フロアーを有する・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/ギャラリー・ラファイエット>

<http://www.galerieslafayette.com/>

http://www2.galerieslafayette.com/international/goFolder.do?f=home_jp

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)





オペラ・ガルニエ [Opéra Garnier]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



- オペラ・ガルニエ [Opéra Garnier]
- Place de l'Opéra, 75009 Paris,
- メトロ 3,7,8号線 オペラ駅 (Opéra)下車



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

ガルニエ宮(Palais Garnier)は、フランスの首都パリにある歌劇場である。単にオペラ座(l'Opéra)と呼ばれることもあり、パリ国立オペラの公演会場の一つである。

フランスの王立オペラの歴史は1669年にさかのぼる。作曲家ロベール・カンベール(Robert Cambert)と組んで宮廷オペラを作っていた詩人ピエール・ペラン(Pierre Perrin)の請願が、財務総監コルベールの仲立ちでルイ14世に許可され「音楽アカデミー」ができたのである。この名称は時代とともに、政治体制とともに変わった・・・

外観および内装はネオ・バロック様式の典型と言われ、たくさんの彫刻を飾り、華やかな装飾を施した豪華絢爛たるものである。また建材には当時、最新の素材とされていた鉄を使用した。これによって、従来不可能とされていた巨大な空間を確保することに成功した。2,167の座席が5階に配分されており、観客収容規模でも当時最大の劇場であった・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/ガルニエ宮>

<http://ja.wikipedia.org/wiki/オペラ座>

<http://www.operadeparis.fr/cns11/live/onp/>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



マドレーヌ教会 [Église de la Madeleine]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- マドレーヌ教会 [Église de la Madeleine]
- Place de la Madeleine, 75008 Paris,
- メトロ 8,12,14号線 マドレーヌ駅 (Madeleine)下車



マドレーヌ教会、通称マドレーヌ寺院(フランス語:Église de la Madeleine)は、フランスの首都・パリ8区にある聖女マグダラのマリアを守護聖人とするカトリック教会。

ブルボン朝末期に建設が開始され、フランス革命により中断。後に建設が再開されるとナポレオン1世の命令でフランス軍戦没将兵顕彰に造営目的が変更され、1842年に完成。このときにはナポレオンが失脚したあとなので、ルイ18世によってカトリック教会に用途が変更された。このためその外観は、以下に述べるようにキリスト教の教会としてはかなり異例であるといえる。

外観はコリント式の高さ30mの柱が52本並べるなど古代ギリシア・古代ローマの神殿を模したネオ・クラシック様式である。正面はルメール(Henri Lemaire)作の「最後の審判」の彫刻に飾られ、銅の扉にはトリケッティ(Henri de Triqueti)による「十戒」をテーマにしたレリーフが施されている・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/マドレーヌ寺院>

(注意: PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



シテ・ベルイエ [Cité Berryer]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



- シテ・ベルイエ [Cité Berryer]
- Cité Berryer 75008 Paris,
- メトロ 8,12,14号線 マドレーヌ駅 (Madeleine)下車



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

サン・トレノ通り(Rue St-Honoré)の上の通りで、マドレーヌ寺院の手前にあるロワイヤル通り(Rue Royale)のデイオールとシヤネルのお店の間のボアシダングラス通り(Rue Boissy d'Anglas)に抜ける道は、両側に商店が立ち並ぶアーケード街のパサージュ(Passage couvert)になっていって、シテ・ベルイエ(Cité Berryer)と呼ばれ、その通路は"ローヤルビレッジ：Le Village Royal (王家の村)"と呼ばれている。エリアは1991年から再建され、ロワイヤル通りとボアシダングラスが接続。この界限にはファッションブランドのお店が立ち並び、有名なドクリヨン(Hôtel de Crillon)やマキシム・ド・パリ(Maxim's de Paris)にデイオールのロワイヤル通り店やエルメス(Hermès)など、多くのレストランや有名ブランド店で賑わっている・・・

"ローヤルビレッジ：Le Village Royal (王家の村)"オフィシャルサイト↓

<http://www.villageroyal.com/>

- Passages Couverts - Cité Berryer -

<http://www.parisinconnu.com/passages/berryer1.php>

http://en.wikipedia.org/wiki/Hôtel_de_Crillon

http://en.wikipedia.org/wiki/Maxim's_Paris

<http://ja.wikipedia.org/wiki/エルメス>

http://www.dior.com/file/prehome_new/index.html

ファッションブランド一覧

<http://www.fashion-press.net/brands/>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



ヴァンドーム広場 [Place Vendôme]-場所

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- ヴァンドーム広場 [Place Vendôme]
- Place Vendôme, 75001 Paris,
- メトロ 3,7,8号線オペラ駅(Opéra)
1号線テュイルリー駅(Tuileries)
1,8,12号線コンコルド駅(Concorde)



ヴァンドーム広場(Place Vendôme)とはパリの1区にある四角い広場で、テュイルリー宮殿の北、マドレーヌ寺院の東に位置する。ヴァンドーム広場はRue de la Paix：平和通りの意味の始点でもあり、高級ブランド店が並ぶことで有名。ジュール・アルドゥアン＝マンサールによる規則的な建築と、角のところで斜めになっているペディメントの仕切りとで、広場中央に堂々とそびえるナポレオン像を囲む様に、正方形に切り取られた長方形のヴァンドーム広場が八角形に見え、パリの広場の中でも一番美しい広場と云われています。広場をぐるりと囲むのは、官庁のほか、ショパール、ブシュロン、ディオール、フレッド、ミキモトといった高級宝石店、そしてかつて、ココ・シャネルが住んでいたことでも有名なホテル・リッツといった高級ホテル。どこからか漂うその上品な雰囲気は、どっしりとした本物のシック、という言葉が似合う空間です・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/ヴァンドーム広場>

(以下参考サイト↓カイエ・ド・パリ)

http://www.cahierdeparis.com/1_article_113

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)



パリ・メトロ [Métro de Paris]-路線図

PARIS Flâner dans Paris, France



ぶらりパリ市内 Flâner dans Paris, France

[Googleマップ・大きな地図で見る](#)

- パリ・メトロ路線図 [Métro de Paris]
- RATP(パリ交通公団)
Régie Autonome des Transports Parisien
RER(エール・ウ・エー：高速地下鉄)
Réseau express régional)



パリのメトロ (Métro de Paris) はパリ市内、および一部郊外へ路線を有する地下鉄である。既存の鉄道路線との乗り入れはない。パリ中心部から郊外に直通するRERについても、市内では地下路線であり、メトロと重複する路線もあるのでパリ市内においては地下鉄と扱われることもある・・・

(注釈はwikipediaを引用、詳しくは以下サイトをご覧ください)

[http://ja.wikipedia.org/wiki/メトロ_\(パリ\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/メトロ_(パリ))

LE RENOUVELLEMENT DE LA STATION DE METRO

パリの地下鉄を乗り換えて目的地までのシミュレーション

<http://www.metro2003.com/>

パリ地下鉄路線図

<http://www.ryoko.info/rosen/train/data/paris.html>

パリ地下鉄路線図 by Google Map

<http://www.travelplatz.com/paris/paris9.html>

(注意：PDFおよびePubではリンクしていない場合があります)